

家庭における幼児の歌唱行動
～ 幼稚園における歌唱との関連
新潟青陵幼稚園保護者へのアンケート結果

渡 辺 優 子

新潟青陵大学福祉心理学科

A Study on Singing of Infants
～The relation between Singing in their Family
and in their Infant school

Yuko Watanabe

NIIGATA SEIRYO UNIVERSITY DEPARTMENT OF SOCIAL WELFARE AND PSYCHOLOGY

Abstract

The purpose of this study is to examine for the influence of the Infants Singings in their Infant school and in their family. In 2005 and 2006, I sent questionnaire to 285 parents, and had 174 replies, and made a compare of difference in sexual and grades of singing in their family.

Key words

Singing of Infants Infant School Family

要 旨

この研究の目的は家庭における幼児の歌唱にとって、幼稚園での歌唱がどのように影響を及ぼしているか調べることである。2005年と2006年に幼稚園の保護者のべ285人にアンケート調査を実施し、174人より回答を得た。幼児の家庭での歌唱について、性別、学年別などで比較検討を行なった。

キーワード

幼児の歌唱 幼稚園 家庭

はじめに

平成12年に筆者は家庭における幼児の歌唱について、新潟青陵幼稚園保護者へのアンケートを通し、どの程度歌うのか、どこで覚えたどのような歌を歌うのか、歌を通しての親子のかかわりなどについて調査を行った。¹⁾その後、新潟青陵幼稚園の教育内容が平成14年よりシュタイナー教育を取り入れたものとなり、家庭における幼児の歌唱になんらかの影響があるのではないかと予想された。そこで、平成17年と18年の2回、同じ内容でアンケートを行って家庭での歌唱に与える影響を調査した。ただし、平成12年のアンケートとは違い、家庭で歌うかどうか、どこで覚えた歌なのか、を中心に簡便な形に変えて行った。

調査方法

新潟青陵幼稚園保護者へのアンケート
アンケート1 平成17年10月実施
アンケート2 平成18年10月実施

1. アンケートへの回答状況（表1参照）
2. 設問、「家庭で歌うかどうか」への回答状況（表2参照）
次の5段階で回答を求めた
1. ほとんど歌わない 2. あまり歌わない
3. 普通 4. 良く歌う 5. とても良く歌う
3. 設問2、「家庭で歌う曲5曲についてどこで覚えたか」への回答状況と曲名（表3参照）

表1

アンケート1

17年度	在籍人数	回収数	回収率
年少	43	37	0.86
年中	51	24	0.471
年長	45	28	0.622
合計	139	89	0.64

アンケート2

18年度	在籍人数	回収数	回収率
年少	48	34	0.708
年中	48	27	0.563
年長	50	24	0.48
合計	146	85	0.582

表2 家庭で歌を歌うかどうか

アンケート1							
区分	1	2	3	4	5	合計	中央値
年少	0	3	3	16	15	37	4.28
年中	2	2	10	6	4	24	3.35
年長	3	6	7	6	6	28	3.21
合計	5	11	20	28	25	89	4.04
男児	5	11	10	9	5	40	2.9
女児	0	0	10	19	20	49	4.26
アンケート2							
区分	1	2	3	4	5	合計	中央値
年少	0	2	9	13	10	34	3.96
年中	1	4	4	12	6	27	3.96
年長	1	2	6	9	6	24	3.50
全体	2	8	19	34	22	85	3.71
男児	2	7	10	12	10	41	3.63
女児	0	1	9	22	12	44	4.05

表3 家庭で歌う歌をどこで覚えたか (複数回答は0.5 3場面での回答は0.3)

アンケート1						
	幼稚園	友達	家族	テレビなど	その他	合計
年少	94.5	1.5	24.5	24	13.5	158
年中	27.5	1.5	13.5	32	16.5	91
年長	30.5	1	6	39	13.5	90
合計	152.5	4	44	95	43.5	339
アンケート2						
	幼稚園	友達	家族	テレビなど	その他	合計
年少	79.5	0	22.5	34	4	140
年中	65	0	12	11	16	104
年長	23.3	3.5	8.4	29.6	15.9	80.7
合計	167.8	3.5	42.9	74.6	35.9	324.7

結果と考察

サンプル数が少なく、回答数も年齢により偏りがあるため、統計的に有意であるかは確定できないのであるが、傾向を指摘することはできる。

設問1については、アンケート調査1, 2を通して年齢別と男女別で家庭での歌唱行動に異なる傾向が見られた。表4、5、6、7を見ると、年中児・年長児と比べると年少児で、女兒と男児を比べると女兒で、4. 良く歌う、5. とても良く歌うの割合が高く、1. ほとんど歌わない、2. あまり歌わないの割合が低い。

設問2についても、アンケート1、2を通して、一定の傾向が見られた。表8、9を見ると、幼稚園で覚えた曲の割合が全体的に高い(特に年少児と年中児)。年長児では園で覚えた歌の割合は減少し、テレビ(DVD、ビデオ、CD、ゲームなども含む)やその他(習い事など)

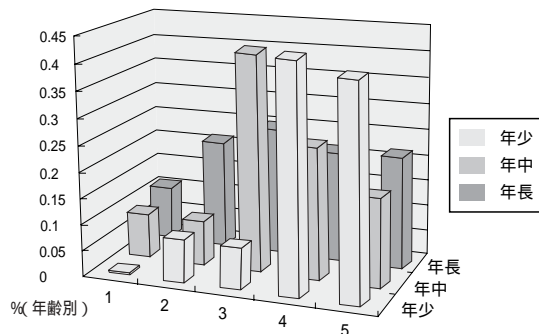
で覚えた歌も増えてくる傾向がある。

設問2に関連して、筆者が平成12年に行った調査を参照してみると、アンケート調査1、2では5曲について回答を求めているが、平成12年の調査では10曲について回答を求めているので、そのまま比べることはできない。しかし、アンケート1, 2(表8、表9)では、平成12年度(表10)に比べると、幼稚園で覚えた歌の割合が上がり、家庭、テレビの割合が下がっている。

新潟青陵幼稚園では平成14年度よりシュタイナー教育を取り入れており、今年度で6年目である。R・シュタイナーは「人間の音体験 音楽教育の基礎²⁾」の中で低学年(幼児期)の音楽は5度を重視すると述べており、その思想を取り入れた幼児教育では、5音階の曲(わらべうた等)や5度音程を重視した歌が歌われている。設問2で幼稚園で覚えたと

表4

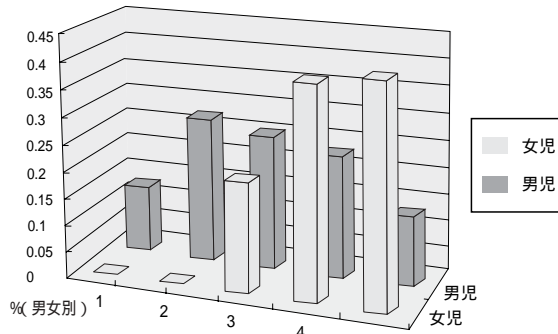
家庭で歌を歌うかどうか 17年度 年齢別



1 ほとんど歌わない、2 あまり歌わない、3 普通、
4 良く歌う、5 とても良く歌う

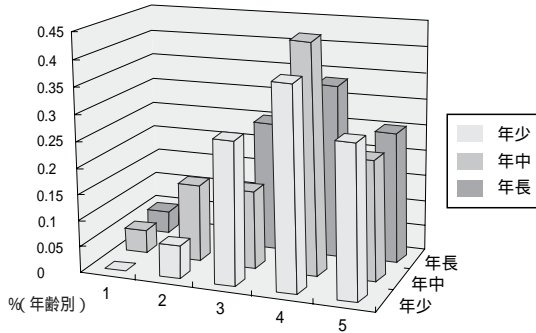
表5

家庭で歌を歌うかどうか 17年度 男女別



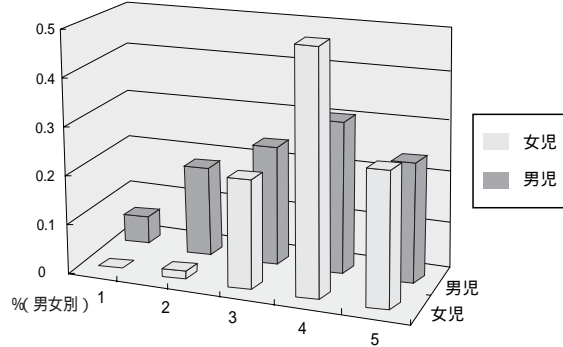
1 ほとんど歌わない、2 あまり歌わない、3 普通、
4 良く歌う、5 とても良く歌う

表6 家庭で歌をうたうかどうか 18年度 年齢別



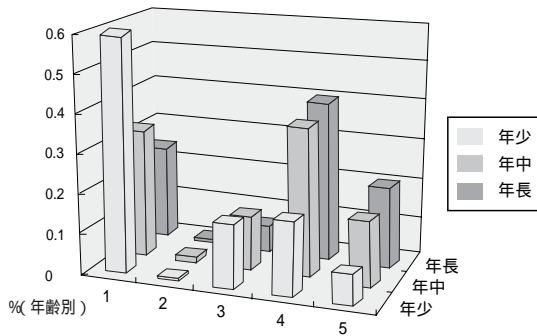
1 ほとんど歌わない、2 あまり歌わない、3 普通、
4 良く歌う、5 とても良く歌う

表7 家庭で歌を歌うかどうか 18年度 男女別



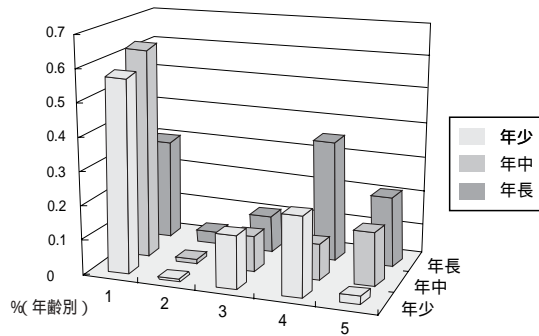
1 ほとんど歌わない、2 あまり歌わない、3 普通、
4 良く歌う、5 とても良く歌う

表8 どこで歌を覚えたか 17年度



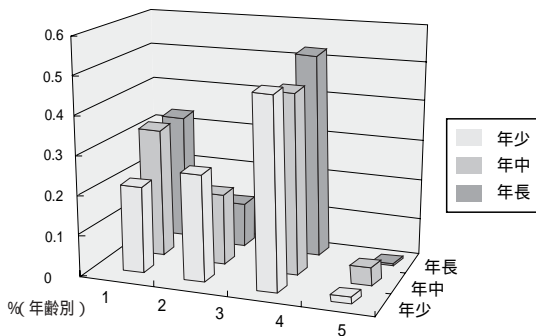
1 - 幼稚園 2 - 友達 3 - 家庭
4 - テレビなど 5 - その他

表9 どこで歌を覚えたか 18年度



1 - 幼稚園 2 - 友達 3 - 家庭
4 - テレビなど 5 - その他

表10 どこで歌を覚えたか 平成12年



1 - 幼稚園 2 - 友達 3 - 家庭
4 - テレビなど 5 - その他

表11 幼稚園で覚えた歌 (回答数)

音調による区分	平成17年度	平成18年度
5音音階、5度の特徴を持った歌	75	60
わらべ歌、民謡	44	41
童謡(調性のある)	39	72

回答があった歌について、音調を見ると表11の通りとなる。

平成12年の調査では、わらべうたなどは、4%程度であり、その他の多くは童謡とテレビアニメの歌であり、5度音程を重視した曲は皆無であった。以上のことより、幼児は音

調が変わっても幼稚園で覚えた歌を家庭でも良く歌うと言えるのではないだろうか。特にこの傾向は年少児ではっきりしている。

また、シュタイナー教育ではテレビ等の視聴にも疑問を投げかけている³⁾。このことにより、テレビ等の歌の割合が減少しているもの

と推察できる。

その他の要因としては、平成12年の調査は7月であり、平成17年、18年の調査は10月であることから、平成17年度、18年度では、特に年少児で園で覚えた歌を歌う割合が高まっていると考えられる。また、平成12年の調査では、園で覚えた歌の割合は平成17年、18年と比べて大きくないが、園で歌った童謡には複数回答が多く、実際の曲数よりも、子ども達に歌われる頻度が高いものとも考えられる。

、まとめと考察

サンプルの問題があるが、3つのアンケートを通して、幼児の家庭での歌唱行動について、いくつかの傾向を認めることができた。幼児の多くは歌うことが好きであり、幼稚園で歌う歌が場面を家庭に換えた場合にも良く歌われるということである。園で歌う歌の選曲、歌を歌う時の雰囲気など、幼児教育者にとって考えて行くべき課題である。また、今回の結果を今後の研究に生かして行きたい。度々のアンケートに快くご協力頂いた新潟青陵幼稚園の先生方、保護者の皆様に厚く感謝の意を表したい。

参考・引用文献

- 1) 渡辺優子 家庭における幼児の歌唱についての一考察 附属幼稚園保護者へのアンケート調査より 新潟青陵女子短期大学研究報告第31号 2001
- 2) R・シュタイナー 西川隆範訳 音楽の本質と人間の音体験 P70 イザラ書房 1993
- 3) 堀内節子 0歳から7歳までのシュタイナー教育 P36, P98 学習研究社 2000

